

新年度予算 多種多様な議論・要望

予算特別委員会のあらまし

議員全員で構成する予算特別委員会（委員長：桑原誠、副委員長：櫻井ちはる）を設置し、新年度の各会計及び条例議案等について、3月13日から21日までの実質6日間で審査を行いました。

委員会では、物価高騰対策、学校整備や施設・機器等の改修、介護保険事業等への取組など、多種多様な面から活発な議論が交わされました。

予算特別委員会における審査の結果については、委員長報告書にまとめ、3月26日の本会議において、全ての予算議案及び条例議案を可決し、令和7年度における一般会計予算の総額は633億6,000万円となりました。

予算特別委員会の主な意見・要望

◆財政運営

実質賃金がマイナスの中、消費税の負担も重くなっている市民のために物価高騰対策の財源を確保し、住民福祉の増進を進めてほしい。

◆まちなか活性化推進に係る事業及び新栄町駅前地区市街地再開発事業

再開発準備組合やアーバンデザインセンターおおむた、地元商店街等と連携し、駅前のにぎわい創出に取り組みながら、事業を推進してほしい。

◆公共施設への包括管理業務導入

課題等が見られることから、さらなる見直しをしてほしい。

◆庁舎整備推進事業

基本構想策定審議会からの答申を尊重し、災害時の業務継続と災害対策本部と避難所機能の役割分担を図るとともに、平時からの市民周知をしてほしい。

◆带状疱疹の予防接種

令和7年度から新たに定期接種の対象となるため、予防接種がスムーズに行えるよう取り組んでほしい。

◆窓口業務民間委託事業

アンケートによる窓口業務の良好な結果を踏まえ、さらなる市民サービスの向上と市民に優しい窓口業務を推進してほしい。

◆手鎌野間川河川改良事業

鉄道や市道・国道などと交差し、改修に当たった課題も多いが、粘り強く進めてほしい。

◆歴木中学校におけるオンサイト貯留施設

大牟田市排水対策基本計画に基づき、令和9年度の完成に向けて、他地域の事例の調査を行うとともに、流域治水の当事者意識を持って、しっかりと取り組んでほしい。

◆地域学校協働活動推進員

地域との信頼関係の構築には一定の時間を要することから、複数年の活動が可能な人材を活用されたい。また、引継ぎの際には、事前に地域への告知を行うとともに、十分な期間を設けてほしい。

◆農業の担い手育成

新規就農者募集の周知を確実に行うとともに、今後とも国の事業を活用しながら支援の充実をしてほしい。

◆消防施設等整備事業

消防行政に大きな変更を伴うことから、適切な訓練施設や消防車両の配置に加え、消防署所の再配置等も念頭に入れた調査・検討をしてほしい。

◆防犯灯及び街路灯設置支援

以前の電気料金補助の実績の点検や広報等による周知を行い、現在点灯していない防犯灯の状況を把握し、電気料金を補助することで、明るいまちづくりにつながるよう取り組んでほしい。

◆鉛製給水管の布設替え

他市ではアパートでの住民被害の事例もあることから、令和7年度からの個別周知に加え、水道管交換の必要性についても積極的に啓発し、安全な水の供給体制の確立に努めてほしい。

◆下水道事業に対する国の財政支援

ウォーターPPP/PFIの導入決定等が交付要件となっていることから、国に対して交付要件としないよう求め、慎重に対応してほしい。